



事務局ニュース

〈14号〉

2017. 3. 9

今年度最後のニュースです。2016年度は「オリンピックイヤー」でもありいろいろなニュースを提供できたこと、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

さて、1か月後には、日本ガイシアリーナにて「日本選手権（競泳）兼世界選手権代表選手選考会」が行われます。世界新記録のアナウンスも夢ではありません。

今からわくわくしています。



遅れましたが、2月に行われました大会・研修会の報告をします。

愛知県室内選手権水泳競技大会

2月4日・5日

名古屋外大・名古屋芸大公園論義公園プール

インフルエンザがはやり、残念ながら棄権した選手もちらほら。しかし、観覧席は超満員で熱気であふれていました。

公認競泳競技役員・審判員講習会

2月12日

日本ガイシレセプションホール

日本水泳連盟から2名の講師を招き、国際大会の審判やリオ五輪の裏話を聞きました。また、午後の講義では、机を移動しディスカッション形式で審判規則を勉強しました。

今年度は継続・更新者に加え、125名の新規登録者があり、今後のインターハイ・全国中学など大きな大会での活躍を期待したいと思います。

愛知県J0チャレンジ水泳競技大会

2月25日・26日

豊川高校プール

今年度最後の公式大会。昨年に比べ参加者が多く、朝早くから夕方遅くまで競技役員はじめ担当者の皆さん、お疲れ様でした。全国J0も頑張ってきてください！



前号、指導員義務研修会の報告でもお知らせしましたが、水球競技が32年ぶりにオリンピック出場を果たし、各地でジュニアの強化が行われ始めました。現在活動中の水球委員会よりお便りをいただきましたのでご紹介します。

水球競技の普及

ジュニアチームの活動について

2014年から愛知水泳連盟水球委員会の強化策の一環で、小学生の子ども達を中心とした水球教室が始まりました。週に1回、名古屋中学・高等学校のプールで、水球に興味を持った子どもが集まり、巻き足やボールを使ったパス・ドリブル・シュートの練習をしています。ジュニアチーム(U-12)は、2014年に発足し、現在は20名の選手が全国ジュニアオリンピック大会への出場を目指し、日々練習を重ねています。

先日2月11・12日に鈴鹿市で開催された、第3回バレンタインカップ水球大会では、ジュニアチームがはじめて3位入賞を果たしました。

水球委員会では、小学生・中学生のジュニア世代(U-15)、さらには女子チーム(U-18)の育成に力を入れています。この選手の中から未来の愛知県を代表する国体選手や2026年愛知県および名古屋市で開催される夏季アジア大会で活躍できる選手が育ってくれることを期待しています。また、水球の普及・強化を進めるために体験会も行っています。水球の魅力を体験しに、是非一度プールに来てください。



体験会は、毎週日曜日午後1～3時
名古屋中・高プールにて
(ジュニア担当 斉藤コーチ)
愛知水泳連盟ホームページに
「名古屋ウォーターポロクラブ」の情報・
連絡先が載っています



← 活動中の写真をいただきました

次年度も引き続き

よろしくお願ひいたします